

普通期水稻の収穫予想について

J A 福岡京築
京築普及指導センター

高温多日照で推移したため、8月30日時点で出穂期は昨年より2～3日程度早まっています。以下に8月28日までのアメダスの平均気温データをもとに、収穫期の予想をしていますので、これを参考に今後の作業計画を立ててください。

1 収穫期予想

品種・田植日		出穂期及び出穂期予想	収穫期(予想)	出穂後積算気温(°C)	出穂後日数
夢つくし	6月 1日	8月3日	9月2日～10日	850 ～ 1050 (<u>籾水分28～24%</u>)	30～38日
	6月15日	8月10日	9月11日～19日		32～40日
	6月22日	8月15日	9月17日～9月26日		33～42日
元気つくし	6月12日	8月18日	9月23日～9月30日	900 ～ 1050 (<u>籾水分28～23%</u>)	37～43日
	6月15日	8月19日	9月24日～10月1日		37～43日
	6月26日	8月24日	10月2日～10月9日		39～46日
ヒノヒカリ	6月10日	8月20日	9月26日～10月3日	900 ～ 1050 (<u>籾水分28～22%</u>)	37～44日
	6月15日	8月23日	9月30日～10月8日		39～46日
	6月22日	8月27日	10月6日～10月14日		40～48日

(出穂期後積算気温による予測、8月29日以降は行橋アメダスの平年値使用)

※今後の平均気温が平年より高いと収穫時期は、早くなります。

・出穂期とは、全茎数の4～5割が出穂した(止葉の葉鞘から穂の先端が現れた)時。

・ほ場での収穫開始の目安は、総籾数の70～80%が黄化したときです(倒伏無の場合)。

刈り遅れになると胴割れの発生など品質が低下しますので、刈り遅れないようにしましょう。

・出穂期や収穫時期は、栽培地帯、移植時期、移植苗の葉齢、ほ場条件、肥培管理、生育量、天候等で異なります。 上記の表を目安として利用して下さい。

2 水管理

間断灌水を実施し、根の活力維持に努めましょう。

出穂前後10日間は、稲が最も水を必要とする時期ですので、浅水管理を行ってください。今後は、強めの間断かん水で徐々に土壌を硬くしてください。

水利やほ場条件、天候にもよりますが、落水時期は収穫1週間前を基準にできるだけ遅くしましょう。

台風時は、収穫間際を除き深水管理をしてください。

普通期水稻の収穫管理について

J A 福岡京築
京築普及指導センター

9月に入り天候不順な状態が続き、元気つくし以降の普通期水稻は成熟が進まない状況です。一方、8月までの好天でウンカやカメムシの発生が目立つほ場があり、注意が必要です。

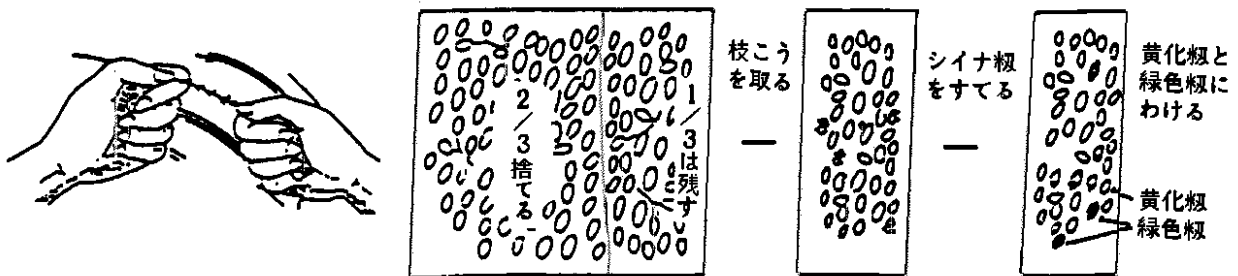
1 刈取り適期

・ほ場での収穫開始の目安は、総粒数の70～80%が黄化したときです(倒伏無の場合)。
刈り遅れになると胴割れの発生など品質が低下しますので、刈り遅れないようにしましょう。

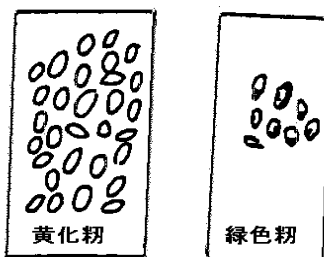
※収穫時期は、栽培地帯、移植時期、移植苗の葉齢、ほ場条件、肥培管理、生育量、天候等で異なります。

《黄褐色粒割合による収穫適期の判定》

- ① 田から平均的な穂を3穂取り、手ですごく。
- ② 紙や手のひらの上でよく混ぜて1/3だけ残す。



- ③ 黄化粒と緑色粒の割合をだす。



(測定例)

黄化粒(A)	緑色粒(B)	黄化粒割合
49粒	21粒	→ 70%
75	25	→ 75
65	15	→ 81

2 病虫害防除

★ 防除上注意すべき事項

(1) セジロウンカやトビイロウンカの発生は昨年より多い状況です。

中生以降の熟期の品種では今後の発生に注意しましょう。

地域やほ場によって発生時期、発生量が異なるため、ほ場での発生状況を確認し、発生量が要防除水準を超える場合は直ちに防除をしましょう。

＜要防除水準：中老齢幼虫の合計数＞

飛来後第2世代：100頭以上／100株

飛来後第3世代：1,000頭以上／100株

- (2) 出穂以後は、薬剤が株元まで届きにくくなるため、株元に届くよう丁寧に散布しましょう。
- (3) 防除に当たっては、下記補正防除を参考にして下さい。

<補正防除>

対象病害	農薬名	10a当たり使用量	使用時期
ウンカ・カメシ類	キラップ粉剤DL	3～4kg	収穫14日前まで
ウンカ類	アプロトバツサ粉剤DL	3～4kg	収穫7日前まで

農薬は、散布量や使用上の注意をラベル等で確認し、周辺地域や他作物へ飛散しないように十分注意しましょう。

3 水管理

水利やほ場条件、天候にもよりますが、落水時期は収穫1週間前を基準にできるだけ遅くしましょう。

※台風時は、収穫間際を除き深水管理をしてください。

4 乾燥

《ヤケ米防止》

- ・ 収穫した粃の水分が高い時は、その都度、乾燥機に入れて通風しましょう。
- ・ 粃水分24%以上は、脱穀後4時間以内（できれば2～3時間）に乾燥、または通風し始めましょう。
- ・ 乾燥機についている水分検定器は、誤差を修正しておきましょう。
- ・ 取扱説明書に従い、乾燥を行って下さい。

5 調製

- ・ 粃すり直前に水分を測定し、水分が多い粃は粃すりをしないで、再度乾燥させましょう。
- ・ 玄米の仕上げ水分は15%です。
- ・ 粃温が高いと肌ずれしやすいので、乾燥直後の粃摺は行わないようにしましょう。
- ・ 肌ずれ米や粃・しいなが混入しないように注意しましょう。
- ・ 玄米の選別は1.85mmです。

飼料用米（ツクシホマレ・ミズホチカラ）の収穫について

J A 福 岡 京 築
京築普及指導センター

1 収穫時期

9月以降、天候不順な状態が続いていますが、10月に入っても気温は高い傾向です。収穫期は、夏場の高温・多日照の影響で、平年より早くなると予想されます。

・刈り取りは籾水分25%以下（籾の90%程度の黄化が目安）で出来ますが、乾燥コスト低減のため、飼料米としての収穫は一般米の収穫晩限である籾水分20%頃を目安とします。

但し、ほ場での立毛乾燥は17%程度が限界と考えられますので、天候や病害虫の発生状況、麦の播種等支障が無い範囲で行ってください。

収穫早限の目安（ツクシホマレ：出穂後積算気温 930℃～1100℃、ミズホチカラ：出穂後積算気温 1200℃～）

品種名	田植時期 月日	出穂期 月日	(参考) 収穫早限 出穂後積算気温 930℃以上になる日	出穂後積算気温 1100℃（ミズホチカラは 1200℃）以上になる日 (籾水分20%頃と見込まれる 飼料用米の収穫時期)
ツクシホマレ	6.15	8.26	10.4	10.12
	6.20	9.1	10.10	10.19
ミズホチカラ	6.15	9.5	-	11.2
	6.29	9.11	-	11.15

*行橋アメダスデータは10月5日まで実測値、10月6日以降は平年値を使用。

(参考) 昨年度の状況（京築管内）

ツクシホマレ 6月15日田植：9月5日出穂、11月2日収穫見込み（飼料用米として）

6月21日田植：9月8日出穂、11月6日収穫見込み（飼料用米として）

ミズホチカラ 6月27日田植：9月13日出穂、11月25日収穫見込み（飼料用米として）

2 防除

本年は、トビイロウンカ（秋ウンカ）は昨年に比べ多い状況です。飼料用米は収穫時期が遅いため、圃場の状況によっては補正防除を行ってください。

＜補正防除＞

対象病害	農薬名	10a当たり使用量	使用時期等	備考
ウンカ・カメムシ類	アフロート [®] ハッサ粉剤DL	3～4kg	収穫7日前まで	
	キラップ粉剤DL	3kg	収穫14日前まで	
	キラップ粒剤	3kg	収穫14日前まで	湛水散布

農薬は、散布量や使用上の注意をラベル等で確認し、周辺地域や他作物へ飛散しないように十分注意しましょう。

JAとの契約の場合は、ントリーエレベーターへの出荷後に玄米で出荷しますので防除は主食用米に準じて行うことができます。個人契約の場合で収穫迄に日数を要する場合はJAに相談して防除してください。

3 乾燥

・自家乾燥の場合は以下の点に留意し、仕上げ水分（粳水分）を14%以下としましょう。

飼料用専用品種の乾燥方法は主食用米に準じますが主食用米で求められるほどの食味・外観品質を考慮する必要がないので、乾燥温度を高め設定して乾燥効率を上げコスト低減の工夫を行います。

なお、通常より高温で乾燥させる場合、穀粒間及び穀粒内部で水分のばらつきが大きくなるので、一定の時間経過後に水分含有率を確認するなど、水分管理に留意します。

4 29年産主食用米生産に向けて

・コンバイン等農機や乾燥機等施設の清掃を徹底しましょう。機械・施設内に残った飼料用米が翌年度の主食用米への品種混入にもつながる可能性があります。

・飼料用米収穫時、ほ場に落下したモミが翌年度に発芽し、主食用米の生産に影響を与える場合があります（漏生イネ）。飼料用米生産ほ場で翌年度に主食用米を生産する場合は、次の対策を行ってください。

① できるだけ、成熟期が早い品種（夢つくし）を栽培。

② 漏生イネに対して効果のある除草剤（イノーバDX1キロ粒剤51など）を使用。

③ 漏生イネが多い場合は、代かき前にラウンドアップ等の非選択性除草剤を散布。

④ 移植水稻を適用作物とし、ボデーガード1キロ粒剤などのミズホチカラに薬害を及ぼす除草剤の散布。

3 乾燥

・自家乾燥の場合は以下の点に留意し、仕上げ水分（粳水分）を14%以下としましょう。

飼料用専用品種の乾燥方法は主食用米に準じますが主食用米で求められるほどの食味・外観品質を考慮する必要がないので、乾燥温度を高め設定して乾燥効率を上げコスト低減の工夫を行います。

なお、通常より高温で乾燥させる場合、穀粒間及び穀粒内部で水分のばらつきが大きくなるので、一定の時間経過後に水分含有率を確認するなど、水分管理に留意します。

4 29年産主食用米生産に向けて

- ・コンバイン等農機や乾燥機等施設の清掃を徹底しましょう。機械・施設内に残った飼料用米が翌年度の主食用米への品種混入にもつながる可能性があります。
- ・飼料用米収穫時、ほ場に落下したモミが翌年度に発芽し、主食用米の生産に影響を与える場合があります（漏生イネ）。飼料用米生産ほ場で翌年度に主食用米を生産する場合は、次の対策を行ってください。

①できるだけ、成熟期が早い品種（夢つくし）を栽培。

②漏生イネに対して効果のある除草剤（イノーバDX1キロ粒剤51など）を使用。

③漏生イネが多い場合は、代かき前にラウンドアップ等の非選択性除草剤を散布。